



桃里の風

射水市立中太閤山小学校
学校だより第9号
令和8年1月26日発行
校長 堀 かおり
Email:nakataikoyama@imizu.ed.jp

「午（馬）のように力強く」チャレンジ・思いやり

今年は丙午(ひのえうま)という60年に一度巡っている年です。60年前は「丙午の女性は気性が激しく、夫の寿命を縮める」という迷信が流布し、子どもの出生率が激減しました。科学的根拠は全くないため、今では気にする人はほとんどいませんが、しかし、十干の「丙」も十二支の「午」もどちらも「情熱」「活発さ」を表しており、エネルギーのある年であることに間違いはなさそうです。

始業式では、子供たちに、この午(馬)を例えに話をしました。「午(馬)は遠く長く力強く駆け抜けること」「午(馬)は仲間と力を合わせて荷物を引くこと」から、今年も力強く「チャレンジ」し、「思いやり」をもって友達と協力し合おうという内容です。



子供たちだけでなく、私たち教員も日々「チャレンジ」すること、「思いやり」をもつことを心がけて今後も頑張ってまいります。今年もどうぞよろしくお願いします。

「正しく使う力」を育てるために

1月21日～25日まで、強い寒波の影響で大雪警戒の日が続きました。この期間、万が一に備え全校児童にタブレットを持ち帰らせました。休校の措置となった場合、オンライン授業を実施するためです。また、シャボテンログを使用することにより、家にいながら健康観察したり、先生へ悩み相談したりすることも可能だからです。



新しいタブレットの導入により、子どもたちの学習の幅が大きく広がっています。調べ学習や振り返り、健康観察など、デジタルならではの手軽さと効率のよさを日々感じています。子どもたちも扱いに慣れつつあり、意欲的に学習へ向かう姿が見られます。

一方で、活用が広がるほど「適切な使い方」を考えさせる必要性もひしひしと感じています。休み時間に、調べ学習やかけ算アプリに取り組んでいるのかと思いきや、学習とは直接関係のないサイトを見ていたり、プログラミングで作られた無料ゲームをこっそりしたりする場面が散見されるからです。おそらく、家庭に持ち帰って教師の目が届かないならば、なおさら心配な状況になるのではないかでしょうか。市内の学校によっては、ルール遵守が難しいことから、休み時間の使用を全て禁止にしたところもあるようです。

便利な道具だからこそ、目的に応じて使い方を選ぶ力、場面にふさわしい行動をとる力が求められます。これはタブレットに限らず、これから社会を生きる子どもたちが身につけたい大切な力だと感じています。本校では、単に禁止するのではなく、「なぜそのルールが必要なのか」を理解させながら、自ら行動を調整し選び取る力を育てていきたいと考えています。今後も、ご家庭と協力しながら、積極的なICT活用を進めていきたいと思いますので、どうぞご理解ご協力よろしくお願いいたします。

クラブ活動の様子を紹介します

1月23日(金)に3年生の子どもたちがクラブ見学を行いました。隔週金曜日の6時間目に4年から6年までの異学年の子どもたちが協力して行っているクラブ活動。自分の興味・感心を追究したり、新しいことに挑戦したりすることを楽しんでいます。全部で9つあるクラブの最近の活動を紹介します。

卓球クラブ

トーナメント戦をしています。自分たちで審判もしながら楽しく試合しています。



屋外スポーツクラブ

冬場は屋外での活動ができないので、室内でフットサルを行っています。



バドミントン・ソフトバレーボールクラブ

ネットをはさんで試合をする人とコートのまわりで練習する人に分かれ交代で活動しています。



バスケットボール・ドッジボールクラブ

順番に試合をしながら、楽しく活動しています。応援の声も盛り上がっています。



発明工作・理科実験クラブ

毎回いろいろな工作や実験があり、挑戦することを楽しんでいます。



料理・手芸クラブ

グループで協力しながらお菓子作りをしています。できあがったものの食べるのも楽しみのひとつ！



イラスト・消しゴムはんこクラブ

黒板アートにもチャレンジ！どんなデザインにするかタブレットと相談しています。



室内あそびクラブ

トランプやカルタ、オセロなど昔ながらの遊びをほのぼのと楽しんでいます。



音楽クラブ

金管楽器やパーカッション楽器にチャレンジしながら素敵な合奏をつくり上げています。



このQRコードからホームページを見ることができます。
ほぼ毎日更新しているので、ぜひご覧になってください。